

寄書

三亭逸話

京の大佛

△奈良に於ける二週間、短しと雖も、余等には確かに益する所が、少なくなかつた。水彩畫に關しては、兩先生は勿論斯道のオーソリチーであるが、余の意見としては其キラクリターに於ても、優に僕輩の以て摸範とするにたる人だ

△一日大下師雨を春日社山門内に避けらる

師時に、洋傘を手にはせられず、某生其傘を用ひられん事を乞ふ傍にありし某生曰く『大下先生は兩と雨との隙間が、通れましよう』と

△講習會員の寫眞が出来た時に、名物男なる廿四貫君大下師に曰く『先生の隣りに居れば、相方の特徴がよく知れてコントラストが妙ですな』と

△三山亭なる會員の内拾人許りの有志をつのり、追々講習會も終りに近づいて來たから紀念の爲に、寫眞を撮影せむとす。

最後の批評會の當日に及び某寫眞師に至りて、位置及び背景はなるだけ奇抜にせんとす。寫眞師怒りて許諾を経ずして、撮影し終れり。皆大いに不平を鳴らしたり。出來上つて見れば、一つとして膨れ面ならざるはなかりき。啞然たり

△一日某生淺茅ヶ原にて、傘杖を立てて寫生中俄然沛然として降る雨に大雷をともしなふ。某生大いに狼狽して、用具をかゝへて傘杖のみは、頭に金屬附しあればとて、原の真中に捨て、歸

る。三亭の門を入るやガラ／＼と附近に落雷す。某生濡鼠の如くになりて傘杖を取りに行くに恐々たり。

△某肥大漢講習會閉會の翌日歸國せんとて停車場に至り見れば、發車に僅か二分を余すのみ、某生さらでだに持て余したる大軀に加ふるに、一の大いなるかばん三脚寫生箱プラツトホイムに出て々見れば南無三汽車は向ふ側に居つて今や發せんとして居る是非陸橋を渡らねばならぬこゝに於て大いに狼狽して橋を下れば驛夫は戸を開いて持つて居てくれた。腰を下す間もなくヒューの一聲と共に發車した、實に間髪をいれぬ位だつた。

片々

草水生

○小春日和の日曜日、冬の森でもかいて見やうと、のそのそ郊外に出かけた、暫して立ち止つたのは（三脚を据えたと云ひたいが）とある麥畑の畔青々した幾條のうれをへだてて枯れた穀斗林が柔い日影を浴びて紫に見える、僕はかがんだけれども、ペンを探るの勇氣を出しかれた、宛然嬰兒の母親に抱かれた時のやう、偉大なる冬の美にうたれて！

○あゝ淋しい哉冬の林や、細々たる綺羅の衣を惜しげもなく擲げ捨て、吐く呼吸の氣もない禪定の姿、裸體の森の女神が落葉厚き山懷に倚りかかつて眠つてゐるかのやう、其の幹、其の枝、凜たる威嚴、あゝ眞の影、何者かが私語いてゐる死の冬の美！！

○この秋は畫版も出來たし水彩畫紙の四つ切も手に入った、大
荒目であるが普通畫紙使用の僕には大したものである、て僕は
花廼屋製の十二色を持ってサツサと足の向ふがまま、見取枠を透
して輪廓をとる、下塗する、さて着色にかかると塗ても塗ても空
隙がうまらぬ、この日は晝頃までにやうやく半分、次の日漸く
形付けてしまつたがなか／＼調和もなにも顧るの餘裕がなかつ
た、只一生懸命白紙を塗り消さうとあせつたのである、蓋しこ
れが四つ切の初寫生、

○繪具紙、一向僕の思ふやうにならぬ、その上技術ときては臺
なしだそれでも時々畫版を片手にそこはかとなく出かけては失
敗する、しかし失敗はしても相應に愉快を感じてゐる、余にと
つては二つ三つしかない慰藉のうちの一なのだから、

○太陽が透進たる西山に没して馬引きたる樵夫が夕餉の烟を縫
ふて歸る頃には空は何とも云はれぬ程澄んだユーヅ色に匂てゐ
る、その時には雲もばら色に見へる、活々した大きな星が一つ
見えそめる頃には雲は淡紫の衣にぬぎかへる

水彩畫と線

晩 雨

水彩畫に直線(幾何學上の直線に非ず)は禁物である。

これは自分の考に過ぎぬ。

曾て或建築物(奈良南圓堂)を寫生した時に全く失敗の作と可成
に出來たのが二杖出來た。後者は前者の非を悟つて再び描い

たのである。其悟つた失敗の原因が即ち直線を描いたにある。
建築の美は曲線美と直線美とが甘く調和して居るのにある、寧
ろ時としては壯大なる直線美によつて人を威壓することもある。
故に建築物に直線美は是非必要である併この直線美は畫面
に直線を描いて其感じを出すことは不得策だと思ふ。

自分が失敗したのは全く茲にある。直線美を現はさんが爲に丁
寧に直線を描いたのにある柱や額や陰陽の境界など皆直線を入
れたのである其結果は非常に見悪いものとなつた。次に其非を
悟つて直線を描かず陰陽の關係等で直線の感じを現はして見た
が割合に甘くいつた。

其後船樹木等にためして見たのにどうしても水彩畫では筆をも
つて直線を描くことは禁物だと思ふ。(直線の多いのは失敗作な
る故)直線を描かずに直線の感じを出すのが必要と思ふ。以上
愚感に過ぎず。

日本水彩畫會新會友

- | | |
|------------------|-------|
| 大阪府三島郡高槻尋常小學校内 | 松村實正 |
| 大阪府東成郡天王寺村柳原、山口市 | 寺内萬次郎 |
| 長野縣飯山町 | 森本香谷 |
| 埼玉縣北足立郡桶川町 | 武村徳松 |
| 東京府下大井町西光寺 | 芳賀雲鷄 |